

手稲中央小学校改築に係る説明会議事概要

○日 時：令和6年12月19日（木） 18時30分～19時30分

○場 所：札幌市立手稲中央小学校 体育館

○出席者：地域住民、保護者等（児童・未就学児含む）	～	28名
札幌市教育委員会生涯学習部学校施設課	～	7名
札幌市子ども未来局子ども育成部子ども企画課	～	3名
札幌市都市局建築部建築工事課	～	4名

1 開会あいさつ

～ 札幌市教育委員会学校配置マネジメント担当課長

手稲中央小学校は、建築後約50年を経過しており、老朽化が進んでいることから、改築を進める運びとなった。併せて児童会館についても合築予定である。PTAや地域の代表の方々や学校の先生方の協力の元、検討を進めてきており、この場を借りて感謝を申し上げる。本日は新たな校舎が学びの場、地域の交流の場としてもより良いものとなるよう、ご意見をいただきたい。

2 児童会館の併設について【資料なし】

～ 札幌市子ども未来局子ども育成部子ども企画課

整備事業推進担当係長

札幌市では、児童会館を1小学校区に1館整備するという方針で整備を進めており、市内に111館存在している。小学校区に児童会館が整備されていない場合は、小学校の余裕教室などを活用して、ミニ児童会館を設置しているところ。小学校が改築する際は、児童会館を主に利用する小学生が利用しやすいよう、小学校と複合した児童会館の整備を進めている。手稲中央小学校については、校区内に富丘児童会館が整備されているが、今回の改築を機に、学校と複合化した新型児童会館として再整備する。学校と合築することで、より安心して児童会館を利用していただける施設になると考えている。

現富丘児童会館については、移転という扱いとなり、跡活用については市内部で公

共利用の有無を確認した上で、取り扱いを検討する流れ。公共利用が見込まれない場合は、建物は解体し土地を売却する運びとなるため、ご理解・ご協力を賜りたい。

3 近年の整備事例及び改築計画案について【映像資料】

～ 札幌市教育委員会生涯学習部学校施設課施設整備係

(1) 改築事業の概要

改築事業全体のスケジュールについて、令和6年度基本設計、令和6年度末～8年度実施設計、令和8年度末に工事着手の想定である旨説明。

計画地及び周辺環境、改築する施設の計画規模、整備諸室について説明。

(2) 改築における施設整備の目標

多様で柔軟な学習空間、健やかな学習・生活環境、地域との円滑な連携、環境への配慮の4点を目標として施設整備を計画している旨説明。

(3) 近年の整備事例の紹介

写真をもとに、近年改築した学校において整備しているワークスペース、多目的室、バリアフリー対策、避難所としての設備について説明。

(4) 配置計画案・工事手順ほかについて

安心・安全で機能的な学校、周辺環境との調和、屋外施設、経済性、工期、施工計画それぞれに配慮して決定した配置計画案及び工事手順について説明。

(5) 平面計画案について

平面図をもとに、各階毎の平面計画案について説明。

4 質疑応答

(1) 質疑

質 疑	回 答
工事期間中のグラウンドが使用できない5年間ほどについて、体育の授業や運動会の開催についてはどのように対応するのか。	これまでの改築校では、体育の授業については、体育館や近隣の公園の活用により対応しております。また、運動会などの学校行事については近隣の学校のグラウンドなどの活用により対応しております。 今後の対応については、学校と相談しながら進めてまいります。
新校舎で授業が出来るようになるのはいつからか。	新校舎の利用開始は令和11年度を予定しております。
既存校舎へのエアコン設置はどうなるのか。改築のため設置されないのではないか。また、設置時期によってはもったいなくないか。	市内の全小中学校について、遅くとも令和10年夏までには設置が完了するよう準備を進めており、手稲中央小学校の既存校舎についても同様の対応となります。 300校ほどの対応となるため難しいところはありますが、なるべく早く設置できるよう準備を進めております。
学校周辺に不審者等が出没しているが、セキュリティ対策などは採られているか。	玄関に防犯カメラを設置するほか、昇降口近くに職員室を配置することで、教員の目が届きやすい構造にする考えです。
プール棟が建設されないようだが、プール授業はどうなるのか。プール棟は何年まで使えるのか。	プール授業については、区のプールや民間のプール施設などを活用することを検討しております。プール棟は令和10年度まで使用できる予定です。
グラウンド工事期間について、野球やサッカーの少年団が利用していることもあり、何らかの対策は採られているのか。また、グラウンドは完全に使えなくなるのか。	工事期間中はグラウンド全体が使用不可となります。 少年団活動に関しては、任意で活動している団体であることから、教育委員会として代替場所の確保などをする予定はなく、各団体に対応いただいております。

国道から小学校へ入る道路の拡幅をする予定はあるか。	道路の拡幅を行う予定はありません。
富丘高台通沿いに居住しているが、工事車両はどこを通る想定か。	工事車両は、基本的に国道から小学校へ入る想定です。
児童への改築に関する周知はいつ頃、どのように行う考えか。	児童への伝え方や時期については、学校と相談してまいります。
スケジュール表上、令和8年度に工事が無い時期があるように見えるが、その期間も工事を行えば、少し早くグラウンドを使用できるのではないか。	工事としての動きは無いものの、建築に当たっての法律上の確認作業や、必要な事務手続きを踏む期間となっております。
給食室の設置に伴い、給食提供をすることになるか。	給食提供をする予定です。
オープンな教室だと周りの騒音が気になって教室に入れない児童にとっては、より授業へ参加しづらい構造にならないか心配。全ての教室の壁がなくなるのか。	いわゆる普通教室や特別支援学級の教室前にはワークスペースを設置いたします。ただし、シチュエーションに応じて開閉可能な扉を設置するなど、幅広い用途に対応できるような設計とする予定です。

(2) 今後の流れなど

今後も地域の皆様のご意見等を参考にしながら、設計を進めていきたいと考えていることから、ご意見等がある場合は、手稲中央小学校内「改築検討委員会」あてに令和7年2月5日（水）までに書面にてご提出いただくよう説明。

また、本日参加できなかった地域の皆様に向け、手稲中央小学校、手稲まちづくりセンター、札幌市のホームページにて、今回の資料や議事概要を閲覧できるようにする旨説明。

5 閉会あいさつ

～ 手稲中央小学校改築検討委員会委員長 手稲中央小学校長

本日は参加いただき誠に感謝申し上げます。本校は手稲区で最も古い小学校であり、開校 140 周年を迎えた。保護者世代だけではなく、祖父母世代も本校の卒業生という児童もあり、小学校が地域に根付いていると感じている。

新しい校舎となっても地域の方々に支えられながら、児童が温もり溢れる学校生活を送り、校舎が地域における新たなシンボルとなることを期待している。

今後とも子どもたちの教育活動における温かいご理解とご協力をお願いしたい。